



日産合成工業株式会社 メールマガジン

2017・8 第127号



残暑お見舞い申し上げます。

この歳になって家族サービスでもないのですが、連れだって東京に出かけて来ました。TX浅草駅で下車して、まずは浅草寺にお参りしましたが、とにかく人々の波でした。五重塔の九輪とスカイツリーのタワーとが同時に眺められるのも、世代を超えた交流を感じさせてくれます。国際通りに出て手打ち蕎麦を食べました。店員さんは国籍を問わず、客あしらいに手慣れた感じでした。そぞろ歩きをしながら隅田川の水上市乗場に向かいましたが、65歳以上は割引料金とかで、長生きするものですね。滝 廉太郎の「花」で「春のうららの 隅田川のぼりくだりの 船人が權（かひ）のしづくも 花と散るながめを何に たとふべき」と詠われた風景も変遷したと



思います。水上バスは満席で、川遊びをする人が意外に多いなあと感じました。隅田川は江戸時代から重要な輸送路として活躍してきましたが、護岸がコンクリートで固められており、緑が欲しいところです。対岸にはジョッキとビールの泡（決して〇〇〇漢字ドリルではありません）を模したといわれる有名なビルがあります。見る位置が違くと趣も変わり、思わずシャッター

を押しました。隅田川を往来するさまざまな形の船は結構多く、屋形船も見かけました。

約30分の水上バスを楽しんだ後に、浜離宮で下船しました。浜離宮は江戸時代に鷹狩の場として整備されたものです。黒松と芝生の築山が広がり、散策するにはもってこいで、なんと標高10m余りの富士見山までありました。また、訓練したアヒルを使って鴨をおびき寄せる仕掛けもあり、動物行動学や管理学が江戸時代にもあったのかと感心しました。潮入りの池に面した中島の茶屋では、濃茶を楽しみました。座敷を吹き抜ける風が何とも心地よく、ここで昼寝ができれば最高だなあと心を残しながら、馬場や三百年の黒松を見ながら散策し、ゆりかもめの汐留駅に向かいました。お台場のホテルではビュフェスタイルの夕ご飯を食べ、お腹がはちきれそうになりました。東京駅では、お目当てであったらしい買い物をして、電車の混雑を避けるため高速バスに乗り、家に戻りました。散財もして盛りだくさんの内容で疲れましたが、新旧の歴史が入り乱れる街も、それなりに捨てがたい趣がありました。

さて、ニッサンメールマガジン第127号をお届けします。

第 11 回全国和牛能力共進会宮城大会の開催

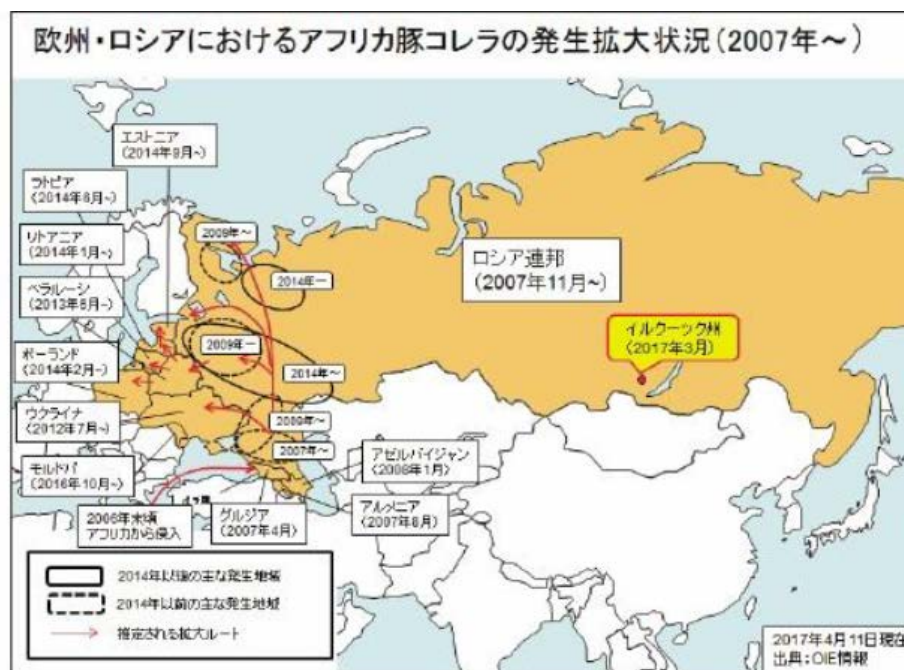
全国和牛能力共進会宮城大会が 9 月 7 日（木）～11 日（月）にかけて、仙台市の夢メッセみやぎと仙台市食肉市場で開催されます。和牛能力共進会は、5 年ごとに開催され、今回が 11 回目の開催となります。出品される牛は 39 道府県から種牛 330 頭、肉牛 183 頭で、過去最大規模の出品頭数となるそうです。人出は約 39 万が見込まれおり、盛大な祭典になるのではないかと思います。和牛は最近の子牛価格の高騰にも関わらず、飼養頭数、飼養戸数とも減少傾向にあります。そのような中で、今回は全国 14 県の高校が仙台に集い、和牛の将来を担う若い力になることを期待しての「高校の部」も設けられるそうです。週末にでも仙台名物牛タンを堪能しつつ、和牛のオリンピックに足を運ばれてはいかがでしょうか。なお、私たちが見学できるのは夢メッセのみで、食肉市場は関係者のみとなります。

開催の詳細につきましては <http://www.zenkyo-miyagi.com/> のホームページをご覧ください。

ロシアでアフリカ豚コレラが発生していた

先月号でチェコにおいて野生イノシシにアフリカ豚コレラが発生したと報告しましたが、ロシアにおいても、この 3 月にモンゴルに近いイルクーツク州で発生していました。ロシアでは 2007 年に本病の発生が

確認されて以来、飼養豚や野生イノシシで発生が継続しており、発生地域が徐々に拡大しています。アフリカ豚コレラの症状は多岐にわたりますが、甚急性、急性、慢性の症状を示し、甚急性では突然死、急性では発熱、食欲不振、



粘血便、チアノーゼなどを呈し、死亡率は 100%に近いとされています。私たちが普段から踏込消毒槽、車両の消毒に注意して、伝染病予防に努めたいものです。

肉牛生産動向

平成 29 年 5 月の牛肉需給を見ますと、生産量は 2 万 5418 トン（前年同月比 0.7%増）と 3 カ月連続で前年同月を上回りました。品種別では、和牛が 1 万 740 トン（同 1.1%減）、乳用種が 7595 トン（同 3.8%減）と前年同月をやや下回りましたが、交雑種は酪農家での黒毛和種交配率の上昇により 6763 トン（同 8.9%増）と 11 カ月連続で前年同月を上回りました。

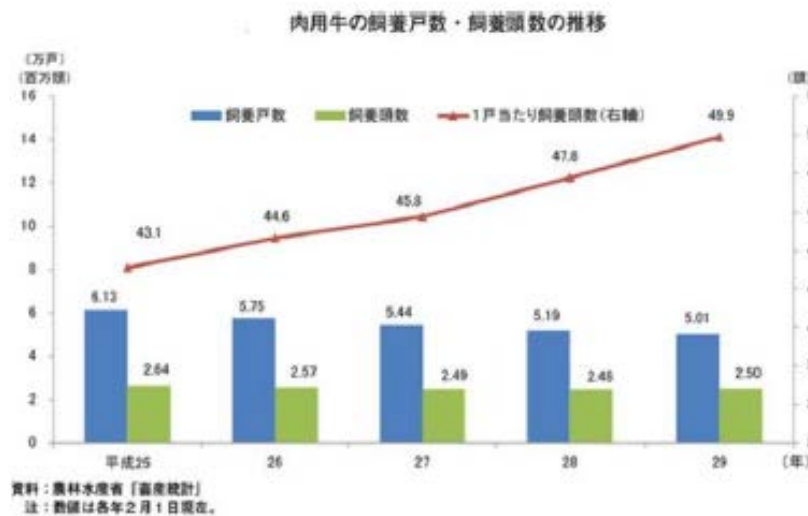
輸入量は冷蔵品が 2 万 2583 トン（同 15.1%増）と前年同月をかなり大きく上回り、冷凍品も 3 万 3781 トン（同 26.5%増）と前年同月を大幅に上回ったことから、全体では 5 万 6446 トン（同 21.7%増）と増加に転じました。（農林水産省「食肉流通統計」、財務省「貿易統計」、農畜産業振興機構調べ）。

平成 29 年 7 月 4 日に農林水産省が公表した「畜産統計」によりますと、同年 2 月 1 日現在の肉用牛飼養戸数は、昭和 32 年の調査開始以降、60 年連続での減少となる 5 万 100 戸（前年比 3.5%減）となりました。飼養戸数を肉用牛飼養頭数規模別に見ると、10～19 頭および 50～99 頭の階層では増加に転じましたが、それ以外の全ての階層で減少となりました。中でも、5～9 頭の小規模層は前年から 1300 戸減（同 11.2%減）と減少が目立っています。減少要因としては、生産者の高齢化が進む中で後継者が不足していることなどが考えられます。

また、肉用牛飼養頭数は、平成 22 年以降、8 年ぶりの増加となる 249 万 9000 頭（同 0.8%増）となり、中でも肉用種は 166 万 4000 頭（同 1.3%増）となりました。一方、乳用種（交雑種を含む）は交雑種が子牛価格高騰を受け酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率が上昇していたことから、

52 万 1600 頭（同 3.2%増）と 2 年連続で増加しましたが、ホルスタイン種他は 31 万 3100 頭（同 5.6%減）と 7 年連続で減少したため、83 万 4700 頭（同 0.3%減）となりました。飼養頭数を肉用牛飼養頭数規模別に見ると、50～99 頭規模の階層（同 10.7%増）および 200 頭以上（同 3.5%増）を除く全ての階層で減少しており、中でも、100～199 頭（同 15.1%減）と 5～9 頭の小規模階層（同 10.7%減）は 2 桁減となっています。

1 戸当たり飼養頭数は、前年から 2.1 頭増加して 49.9 頭となり、引き続き生産の大規模化が進んでいることが見て取れます。なお、飼養戸数の 4.5%を占める 200 頭以上の層が飼養する肉用牛の割合は、56.0%と前年から 1.5 ポイント増加しました（図）。



酪農豆知識第 112 号の概要および URL

前号では、妊娠していると思いこんで、発情観察がおろそかになり、空胎日数を無駄に延長させる牛が結構多いことを述べました。さらには発情兆候が弱くて、適期授精を逃している事も多いのではないかと思います。そのような状態を打破する一つの手法として、ファストバック®法を紹介します。本法は黄体ホルモンを含むデバイスを膈内に授精後の性周期の 14 日目に挿入し、21 日目に抜去します。妊娠していれば発情はありませんが、妊娠していなければ 3~4 日目に発情が回帰することを利用したものです。

「酪農・豆知識」は、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用にPDFファイルを添付しました。PDFファイルをご利用いただくためには、Adobe Readerが必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願ひします。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QR コード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるように QR コードを添付しました。

